

【科目名】公的扶助論		【担当教員】林 正海							
【授業区分】専門基礎		【授業コード】 2-3-0380-0-2		(メールアドレス) shinozaki@nur.ac.jp					
【開講時期】1・2 年前期		【選択必修】選択							
【単位数】1 単位		【コマ数】8 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・遅刻・欠席する際は講義開始時までに必ず連絡を入れること。理由を教員に伝え、資料は教員からもらうこと。									
【講義概要】 (目的) 低所得層の生活実態と社会情勢、福祉需要について理解する。生活保護制度や関連する他制度について理解する。 (方法) 教科書や配付資料を用いた講義を行う。その後、グループワークにて事例を用いて自立支援プログラムを立案する。									
【一般教育目標(GIO)】 ・英国の事例や諸外国の制度をもとにわが国の公的扶助の位置が確認できる。 ・基本的な仕組みから新たな動向まで公的扶助の全体像を把握できる。 【行動目標(SBO)】 ・生活保護制度の仕組みについて説明することができる。 ・低所得の原因及び対策について説明することができる。									
【教科書・リザーブドブック】 岩田正美、杉村宏 公的扶助論-低所得者に対する支援と生活保護制度- ミネルヴァ書房、2013。 ¥2,730 (税別)									
【参考書】 厚生労働省 HP 生活保護制度を読み、予習をすること。以下 URL 参照。									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 出席状況、遅刻・欠席時の連絡の有無、小テスト及び定期試験で評定する。再試験は基本的に 1 回のみのので留意されたい。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		80	10					10	100 点
評	取り込む力・知識	40							40

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	40						40
	コラボレーションとリーダーシップ							
	発表力							
	学修に取り組む姿勢		10				10	20
【授業日程と内容】								
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)	時間(分)			
1	オリエンテーション 貧困・低所得者問題	講義		教科書第 1 章を読む。	90			
2	福祉国家と公的扶助	講義・演習		教科書第 2 章を読む。	90			
3	生活保護制度 1	講義・演習		教科書第 3 章 p59～p81 までを読む。	90			
4	生活保護制度 2	講義・演習		教科書第 3 章 p82～p91 までを読む。	90			
5	生活保護の実施体制と援助方法	講義・演習		教科書第 4 章を読む。	90			
6	被保護層の動向と課題	講義・演習		教科書第 5 章を読む。	90			
7	低所得・貧困層への他の政策	講義・演習		教科書第 6・7 章のうち母子世帯に関する項目を読む。	90			
8	低所得・貧困層への他の政策	講義・演習		教科書第 6・7 章のうちホームレスに関する項目を読む。	90			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。